

2021年11月18日
西日本旅客鉄道株式会社
学校法人加計学園 倉敷芸術科学大学

山陽線130周年を記念した倉敷駅での黒板アートの展示について

1891年は、3月に山陽線が岡山駅まで開通し、順次、倉敷駅、笠岡駅、福山駅、尾道駅と運行区間を広げた年であり、2021年は130周年を迎えるメモリアルイヤーです。

JR倉敷駅では、地域の皆様や鉄道をご利用のお客様にお楽しみいただくため、倉敷芸術科学大学のご協力をいただき、黒板アートを展示します。皆様のお越しをお待ちしています。

1 黒板アートについて

倉敷芸術科学大学 中川浩一（なかがわ ひろかず）教授の監修のもと同大学の学生が作成したもので、チョークを使って黒板に描いた絵に、3DCG（3次元コンピュータグラフィックス）を使用した画像を組み合わせたアートです。

アート横に設置してある2次元バーコードをスマートフォン等で読み取れば、スマートフォン画面にCGで作られた列車が現れます。

【イメージ】



2 展示期間

2021年12月1日（水）から当面の間

3 展示場所

倉敷駅改札内コンコース

4 その他

上記のイベント等の実施については、新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、感染拡大防止策をとったうえで実施します。

※山陽線は神戸駅・門司駅（JR九州）間を結ぶ路線です。

※今後の社会情勢等により実施内容が変更となる場合があります。

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に4番、17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

